



本学では 2005 年度から北海道大学オープンコースウェアプロジェクト（以下、北大 OCW）を開始し、講義の資料や映像を通して北海道大学の教育を伝えています。この趣旨にご賛同くださる先生方のご協力で活動を維持していますので、本ニュースレターで北大 OCW の活動をより一層ご理解いただければ幸いです。皆様からの資料提供を心よりお待ちしております。

北大 OCW では講義や公開講座の資料や映像をウェブサイトで公開しています。これらの映像は iTunes Store などでも紹介しています。本ニュースレターでは北大 OCW の活動にご協力くださっている先生方の声をシリーズでお伝えします。今回は全学教育「蛙学への招待」の授業映像・資料を提供して下さっている、高等教育推進機構の鈴木誠先生にお話を伺いました。

学生一人ひとりが解剖（系統解剖）を行うなど、専門性の高い授業を全学教育で行うのはなぜですか？

学生から隠れたモチベーションを引き出したい、というのがこの授業のもう一つの狙いです。それには様々な手法がありますが、私は「自己効力」に焦点をあてています。たとえば、褒めるという言語的支援、本物との直接体験、授業の主役にすることなどによって、引き出されてくるのです。系統解剖もそのひとつです。解剖には色々な目的がありますが、学生をしっかり授業の文脈に位置づけることができ、それが後に行う学生授業（学生が行う授業）に生きてきます。

また、高度な専門的内容は、知的好奇心を大いに刺激します。それは文系・理系問いません。初年次の段階で、学生が「ホンモノ」と出会うことによって、学びに動機づけていきたいのです。そのために、科学論文の原著にも当たらせませう。情報収集やその処理・精査の仕方、研究計画の 7 割は決まりますから、学びのテーマに対してしっかりした動機を持つことが大切です。研究の入り口を見せることが授業の主眼ですが、「蛙学への招待」では入り口にすぎません。ま

た、そのような視点は、研究者ではない他の職種において必要なことだと思っています。今、社会の中でも色々な問題がありますが、しっかり情報を集めて精査する、そして自分なりの考えを持って行動する、というスタンスに求められているはずですから。

鈴木先生にとって、理想の授業とはどのようなものですか？

理想の授業の形態というのは、目的によって異なります。私の授業では、モチベーションを引き出すようなインタラクティブなやりとりをします。大学の学びは $X + Y = 5$ の世界です。X は何かわからない。だから面白いのです。私は teaching はしますが、学生自らの learning が重要です。学生一人ひとりの能力を引き出して、それが相互作用で 2 倍、3 倍にもふくらんでいくようなものが理想ですね。私は授業とは、学生と教員の共同作品と思っています。そして、共同作品にするには、教員が学生一人ひとりをしっかりモニタリングしなければなりません。授業は一期一会ですから、学生をしっかり見ていくことが授業の基本となるわけです。



鈴木 誠（すずき まこと）
高等教育推進機構 教授
大学院理学院 自然史科学専攻 教授
【専門】教育学・解剖学（両棲類）

OCW で授業を公開するメリットについて教えてください。

OCW に公開することによって、学生が授業のイメージをつかんできてくれますね。「ああ、こんな授業があるんだな」と。それはすごく助かっていると思います。私の授業の学生も、みんな見ていますから。

また、見ているのは北大の学生だけではなく高校生も多いですし、北大の授業の一端を告知する、という意味でとても機能しているのではないのでしょうか。さらに多くの高校生にも知ってもらえるといいですね。

【公開中の鈴木先生の映像コンテンツ】

- ・全学教育
「蛙学への招待」2004, 2006 ～ 2010 年度
- ・セミナー / 講演会
「教育評価」（北海道大学教育ワークショップ）

◇写真は鈴木先生と 2011 年度「蛙学への招待」の学生の皆さん。毎年、授業の最終日に北大農場のこの場所で撮影する記念写真は、鈴木先生の宝物になるそうです。



【新規コンテンツ公開状況（2011/2/1～2011/8/31）】

【全学教育】	芸術と文学 特別講義	札幌と音楽文化 大学と社会
【トピックス】	ノーベル賞	精進努力で“鈴木カップリング”を見つけた！ 鈴木章 名誉教授 ノーベル化学賞受賞記念 特別展示 関連イベント・セミナー
【北海道大学公開講座】		現代インドを考える 持続可能な水産業への取り組み～日韓拠点大学交流から得たもの～ 土一地球の皮膚ーを守る農業
【北海道大学教育 GP】		教育の改革と将来像
【土曜市民セミナー】		博物館における映像情報デザイン 北海道の背骨の生い立ちを探る 豊平川沿いに札幌の生い立ちをさぐる 豊平川の化石が語る札幌・海の時代 何が出る 豊平川の花見かな 札幌の市街地西部山麓にあった温泉 モノとコトの博物館～新館長あいさつ～ 森の上の雲 知性が生まれるとき 北大発、金星行き 哲学者はパラドクスがお好き ロシア文学と境界 詩人ゲンナジイ・アイギと言語の境界
【サイエンス・カフェ札幌】		平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震緊急報告会 福島第一原子力発電所における事故の影響に関する英語での説明会 大塚賞受賞者講演会 のりさんと科学を語ろう 学部移行ガイダンス 第 18 回北海道大学教育ワークショップ
【人文学カフェ】		小さな夢を見つづけて 氷の格子欠陥 地球科学者から環境科学者へ How Bad is the Reactor Meltdown in Japan?
【グローバル COE プログラム】		
【セミナー／講演会】		
【最終講義】		
【資料室】		

8月の人気コンテンツ

8月の上位は、「哲学者はパラドクスがお好き」と、「村上春樹 1 Q 8 4 を読む」の、人文学カフェのコンテンツが占めました。「村上春樹 1 Q 8 4 を読む」は昨年5月の公開以来、1年以上経た現在も、常に毎月1～2位にあり、多くの方がアクセスしています。つぎに、全学教育の「ロシア音楽の魅力」、「基礎乗船実習」の講義、そして市民向けの「NHK連続放送劇 鐘の鳴る丘」、「何が出る豊平川の花見かな」、「コミュニケーションする脳!？」が続いております。

コラム

【OCW 道場！】



本道場では『オープンコースウェアで何ができるの?』と疑問をお持ちの皆様に様々な活用方法を伝授します。

この道場では今回までに3つのOCW活用術「①JOCWの各大学のサイトで講義術を拝見の術」、「②OCWで講義資料を安心保存の術」、「③総合入試世代の学生をOCWで導く!」の術を紹介してきたぞ。この3つをマスターするだけでも相当じゃが、さらなる必殺奥義を今回は伝授しよう。

活用術その④

大学情報データベースに記載の術!

北海道大学では教育・社会貢献活動としてOCWでの資料公開を推奨しているのじゃ。OCWに講義資料を提供してデータベースの「教育改善・その他教育業績」欄に「北大OCWから公開」と積極的に記載するとよいぞ。

【編集後記】

無事に発行の日を迎えられました。インタビューにお答えくださった鈴木先生、ありがとうございました！（編集 宮越）

